

人事公募

標準様式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さいますようお願いいたします。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1)着任時期、(2)任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1)提出先、(2)問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）。

国立天文台地球回転分野教官

1. 教授もしくは助教授 1 名
2. (1)地球回転
(2)岩手県水沢市
3. 地球力学
4. 地球および惑星の構造と力学に関する理論的もしくは観測的研究を独創的に進める能力を持つ研究者
5. (1)決定後なるべく早い時期
(2)外国籍の場合は、任期を設けることができる
6. 博士の学位を有するもの、またはそれと同等以上。英語もしくは日本語を話せること
7. (1)履歴書、(2)研究歴、(3)研究論文リストおよび主要論文別刷、(4)研究計画、(5)本人について意見を述べられる 2 名の氏名、(6)希望職種
8. 1992 年 12 月 28 日（月）
9. (1)〒 181 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台
台長 古在由秀
(2)国立天文台 地球回転研究系 笹尾哲夫
TEL 0197-22-7127
FAX 0197-22-7120
10. 封筒の表に「地球回転分野応募書類」と朱記し、簡易書留でお送り下さい
11. 選考は国立天文台運営協議員会において行い

ます。国立天文台の定年は 60 歳です

東京都立大学理学部物理学教室助手

1. 助手 1 名
2. 宇宙物理学実験(1992 年 10 月発足、助教授：大橋隆哉)
3. 4. X 線天文衛星等を用いた宇宙物理学の観測的研究、および新しい観測技術の実験開発
5. (1)1993 年 4 月 1 日
6. 修士課程終了またはそれと同等以上の学力を有する方
7. ①履歴書 ②業績リスト ③3 編程度の主要論文別刷 ④これまでの研究概要（2,000 字程度） ⑤着任後の研究計画（2,000 字程度） ⑥本人についての意見書 2 通（健康についての所見を含む）
8. 1992 年 11 月 24 日(火)必着
9. 〒 192-03 東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学理学部物理学教室
主任 井上正晴
電話 0426-77-1111
10. 封筒に「応募書類」と朱書、書留で送付のこと
11. ○東京都の給与体系による
○満 63 歳定年

人事公募結果

東京都立大学物理学教室教員

1. 公募掲載：1992 年 1 月号
2. 氏名：大橋隆哉
3. 前所属：東京大学理学部

日本天文学会評議員選挙について

今年5月の春季年会の際の通常総会で承認された評議員のうちに、「評議員選挙施行細則」第6条(重任規定)によって除かれるべき佐藤文隆氏を誤って当選者として入れてしまったことが、その後判明しました。

日本天文学会定款の評議員選挙に関する細則第6条は、「当選者は得票順に上位15名とする。ただし、定款第20条の規定(改選される評議員の半数以下は重任を妨げない)により開票結果において上位15名中に前期よりの重任者が7名を超える場合は8番目以下は無効とし、重任者以外の次点者を順次計15名になるまで繰り上げるものとする。…」となっています。

選挙管理委員会はこの規則に従って、8番目以下の重任各氏を無効としたのですが、手違いで佐藤文隆氏のみを「今回改選の評議員」と認定しそこねてしまったため、誤って同氏を新しい評議員候補とし、評議員会にも報告してしまいました。これが評議員会、および総会でも気づかれず、そのまま承認されてしまったわけです。これは当選挙管理委員会の重大な不手際であり、会員諸氏にお詫び申し上げる次第です。なお、このミスがなければ15位に繰上げ当選となるべき人は佐藤勝彦氏です。

佐藤文隆氏以外の14名については選挙・承認ともに、定款第19条の「評議員は別に定める選挙施行細則に基づいて、特別会員相互間でこれを選出し、通常総会の承認を得るものとする。」という規定に基づき正当な手続きを経ているので有効であり問題はない、と判断します。佐藤文隆氏の当選は無効であることを本委員会として確認しましたので、報告させていただきます。

なお繰り上げ当選に関しては、定款第9条に「評議員は通常総会の承認を得る」とあり、評議員の欠員補充に関する規定がどこにもありません。来年の春季年会時の通常総会で佐藤勝彦氏の繰り上

げ当選を承認していただくまでの過渡的な処置については、欠員としておくのが妥当と思われると思いますが、具体的には理事長と評議員会に判断をゆだねたいと思います。

以上、お詫びとともに会員の皆様にご報告いたします。

第9期選挙管理委員会 委員長 海部 宣男

平成5年前期(1～6月)国立天文台 岡山天体物理観測所の共同利用観測の公募

以下のとおり公募いたします。詳細は、下記提出先または観測所へお問い合わせ下さい。

1. 共同利用機器：188 cm 望遠鏡, 91 cm 望遠鏡, 65 cm 太陽望遠鏡
2. 利用期間：平成5年1月～6月
3. 申込資格：国・公・私立大学および国・公立研究所等の研究者、又はこれに準ずる者(大学院博士課程在学者を含む。)
4. 申込方法：既定の観測申込書により2部提出
5. 申込締切：平成4年10月2日(金)必着
6. 提出先：〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台管理部庶務課共同利用係
電話 0422-34-3660・3661

封筒に「岡山観測申込書在中」と朱書のこと

7. 機器一般の問合せ先：

〒719-02

岡山県浅口郡鴨方町大字本庄3037-5

国立天文台岡山天体物理観測所

前原英夫

Tel 086544-2155

フォーラム

「大学における天文教育の現状

—宇宙を学べる大学はこんなにある!—

上記フォーラムを天文教育普及研究会と共催で開催します。秋季年会の折10月13日17時30分から学会会場で行いますので、多数の方が御参加下さい。

基研モレキュール型研究会案内 「ガンマ線バースト」

日時 11月4日(水)～11月6日(金)
場所 〒606 京都市左京区北白川追分町
湯川記念館
連絡先 〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所
中村卓史 075-753-7010 (FAX)

文部省科学研究費補助金重点領域研究(1) 「ラインX線・ガンマ線による天体物理」 公募研究の募集

皆様のご支援のお陰で、重点領域研究(1)「ラインX線・ガンマ線による天体物理」が1993年度(平成5年)より発足することになりました。この重点領域では次の4つの研究項目について公募研究を行なう予定です。GingaやAstro-Dなどでえられたデータを使って研究されている方も奮って応募して下さい。

- A01. ラインX線・ガンマ線の研究
- A02. ガンマ線バーストにおけるラインガンマ線の研究
- A03. ラインガンマ線の研究
- A04. 天体でのラインX線ガンマ線放射の理論研究

お問い合わせ先

東京大学理学部天文学教室 野本憲一
E-mail. nomoto@apsun1.astron.s.u-tokyo.ac.jp
Tel. 03-3812-2111 (内) 4255
東京大学理学部物理学教室 釜江常好
E-mail. kamae@tkyvox.phys.s.u-tokyo.ac.jp
Tel. 03-3812-2111 (内) 4204
京都大学理学部物理学第2教室 小山勝二
E-mail. koyama@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp
Tel. 075-753-3833

『地球近傍小惑星研究会』開催のお知らせ

表記研究会を下記の要領で開催しますので、地球近傍小惑星の進化、起源、探査、衝突などに関心をお持ちの方々の多数の参加をお願いいたします。

開催日時：1992年12月2日(水)～3日(木)
場所：宇宙科学研究所 本館1階入札室
講演申込：講演者名(所属)、題目、講演要旨(400字以内)

申込締切：1992年10月19日(月)

申込先：〒181 三鷹市大沢2-21-1

国立天文台 磯部 瑠三 宛

TEL：0422-34-3645

FAX：0422-34-3698

その他：旅費が出せるあてのない講演者のため若干の旅費の用意がありますが、多分すべてのご希望には沿いかねますので、必要な方は早めに(自分の役職名を添えて)ご連絡ください。

なお、この研究会は、はじめに、「飛翔体による小惑星探査」の研究会と「アポロ・アモール小惑星の科学と衝突」研究会とが別々に計画されましたが、重複する参加者への負担を考慮して、「太陽系科学シンポジウム」の直後に合併して開催することになりました。特に前者に関する講演は探査の具体的なテーマや方法についての提案を歓迎します。

世話人：水谷仁(宇宙研) 向井正(神戸大・理)
興石肇(RESTEC) 磯部瑠三(国立天文台)